

1. 件 名：原子力災害対策中央連絡会議の進め方に関する面談（その2）

2. 日 時：令和3年11月4日 17:20～17:55

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

川崎企画調整官、平野室長補佐、和田専門職

（以下、テレビ会議システムによる出席）

原子力エネルギー協議会

副長

5. 要 旨

原子力エネルギー協議会（ATENA）より、次回の原子力災害対策中央連絡会議の議題として検討していた原子力災害時オンサイト医療に係る取り組みについて、会議に向けた準備状況の説明があった。

原子力規制庁より、第8回原子力災害対策中央連絡会議において厚生労働省から指摘のあったロードマップを示すことについて進展がなく、その検討にスケジュール感が全く示されていないことから、オンサイト医療体制構築委員会において適切なスケジュール感を共有したうえで議論が進み、ロードマップを示せる段階に至った時、あるいは、（少なくとも）ロードマップを示すための検討スケジュールを示せる段階に至った時に原子力災害対策中央連絡会議において報告することが適切ではないか伝えた。

ATENAから、指摘を踏まえ、本議題を原子力災害対策中央連絡会議で取り上げるかどうか検討するとの回答があった。

面談後、ATENAより、指摘を踏まえて資料を見直すことを前提に、原子力災害対策中央連絡会議において説明したいとの申し出があった。

6. その他

配布資料：資料1 原子力災害時オンサイト医療に係る取り組み状況について